

学ぶなら 今こそつながろう

開催要綱

光り輝く 子どもたちの未来のために

第17回全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 奈良

日程：2018年1月6日（土）
～8日（月）

期 日：2018年1月6日（土）～ 8日（月）

会 場：全体会 奈良県文化会館国際ホール
（近鉄奈良駅1番出口より東へ徒歩約5分）
分科会・講座・フォーラム 奈良教育大学
（近鉄奈良駅よりバス約10分、高畑町下車）

参加費：3,000円（一日のみ参加は2,000円、
フォーラムのみ参加1,000円 保護者・学生は500円）



6日 (土)		12:00	13:00～17:00	18:30～
		受付	開会全体会 現地企画 記念講演 丸山啓史 氏	全体交流会
		奈良県文化会館国際ホール		奈良ロイヤルホテル
7日 (日)	9:30～11:30	奈良教育大学	12:30～17:00	18:00～or18:30～
	・てんこ盛り講座 ・文化バザール		・基礎講座 ・旬の実践分科会	交流会(各県ブロック・ 青年・障害児学級)
8日 (月)	9:30-12:00			
	教育フォーラム			
	奈良教育大学			

主催：全教障害児教育部・教組共闘連絡会・現地実行委員会
【お問い合わせ】TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

1 / 6 (土)

全体会 13:00~17:00

- ◇ オープニング
- ◇ 実行委員長あいさつ
- ◇ 現地企画

- ◇ 現地あいさつ
- ◇ 基調報告



全体会会場：奈良県文化会館国際ホール

◇記念講演

「子どもの気持ちの育ちと発達保障」

丸山啓史さん（京都教育大学）

<講演概要>

子どもたちの発達を保障すること——それは学校の大切な役割です。

それでは、「発達」とは何でしょうか？ 私たちが子どもたちに期待しているのは、どのような育ちでしょうか？ 私たちは子どもたちのどんな姿に、喜びを感じるのでしょうか？

「発達」のイメージを豊かにもつことで、毎日の実践の方向性や子ども理解の視点が変わるように思います。「スキルの獲得」の寄せ集めが「発達」なのではありません。子どもたちの「気持ちの育ち」に目を向けることで、「発達」のイメージがよりふくらみます。

今回の講演では、学校はもちろん、放課後・休日の活動の場、学校卒業後に通う場での例も交えながら、障害のある子どもたち、そして私たち教員のめざすべき「発達」のあり方について考えたいと思います。2018年のスタートに、ちょっと難しいと敬遠しがちな「発達」「発達保障」について、いっしょに考えてみませんか？

全体会 13:00~17:00

◇全体会会場 概略図



近鉄奈良駅から

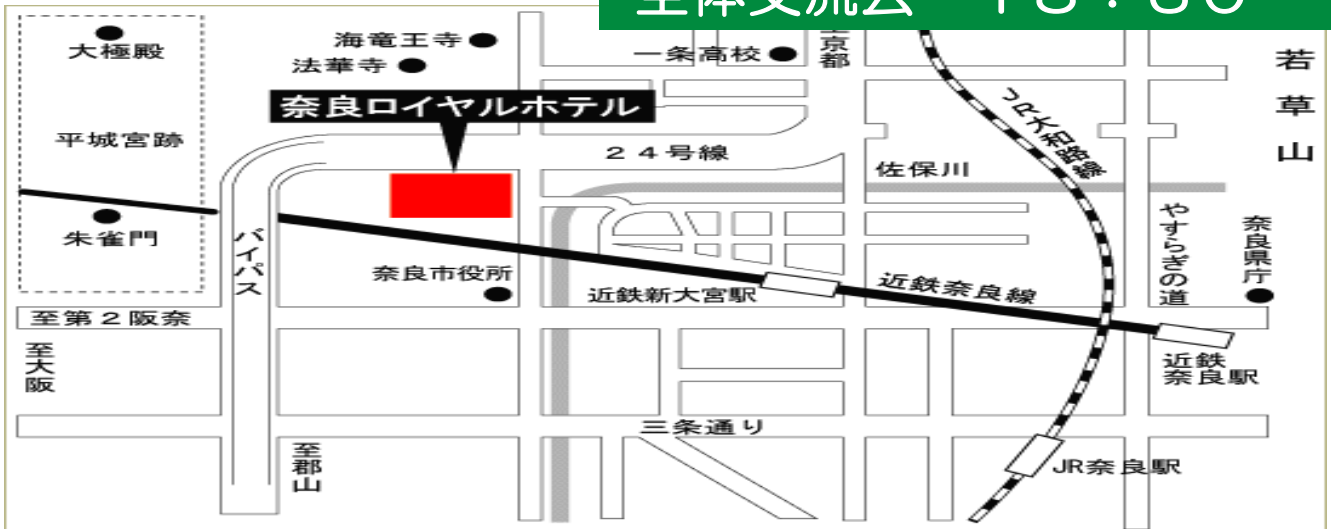
東改札口より、1番出口を出てそのまま東へ 徒歩約5分（奈良県庁の手前、西隣です）

JR奈良駅から

東出口 バスターミナルから 奈良交通 2系統 市内循環バス（外まわり）に乗車し約10分

「県庁前」バス停下車 西へ 徒歩約2分

全体交流会 18:30~



会場：奈良ロイヤルホテル 奈良市法華寺町 254-1 TEL: 0742-34-1131
 近鉄新大宮駅より西へ徒歩で約 10 分ほどです。

てんこ盛り講座・文化バザール・分科会・フォーラム(1/7・8)



近鉄奈良駅・JR奈良駅よりバス(約10分)で高畑町(奈良教育大学)下車

てんこ盛り講座(1/7) 9:30~11:30

講座名	講師
わくわくどきどき楽しい国語	鈴木 智代子さん(東京)
わくわくどきどき楽しい算数	小島 貴子 さん(埼玉)
わくわくどきどき楽しい美術	福家 省三 さん(京都)
わくわくどきどき楽しい体育	大宮 とも子さん(兵庫)
障害の重い子の発達を学ぶ	原田 文孝 さん(兵庫)
医療と教育	※未定
キャリア教育を考える	河南 勝 さん(兵庫)
福祉型専攻科の実践	阪東 俊忠 さん(奈良)
高校における特別支援教育	土方 功 さん(全教)
障害者の貧困問題を考える	播本 裕子 さん(大阪)
性教育を学ぼう	千住 真理子さん(大阪)
障害児学級での授業づくり・学級づくり	全教障教部 学級事務局
教職員の働き方	米田 雅幸 さん(全教)
集まれ臨時教職員	増賀 正志 さん(大阪)

文化バザール(1/7) 9:30~11:30



講座名	講師
歴史フィールドワーク	西村 徹 さん(奈良)
和菓子づくり(限定15人 別途材料費が必要)	西園 主税 さん(奈良)
理科実験	山口 誠 さん(京都)
子どもが笑顔になるマジック講座	佐藤 比呂二さん(東京)
障害の重い子の教材紹介(うたあそびも)	藤本千恵さん 角智子さん(滋賀)
チンアナゴを作ろう!(限定15人 別途材料費500円) ー羊毛フェルト素材を活かしたものづくり教室ー	荻野 剛 さん(滋賀)

基礎講座(1/7) 12:30~17:00



	講座名	講師
前半	インクルーシブ教育を考える	荒川 智 さん(茨城大)
後半	子どもの発達、子どもの見方	松島 明日香さん(滋賀大)

旬の実践分科会(1/7) 12:30~17:00



旬の実践分科会	共同研究者
1, 障害児学級での教育実践(小学校)	大島 悦子 さん(大阪)
<<Re>>元治 智子(兵庫)「みんなで学んでパワーアップ!」 西河 月美(大阪)「みんなで作ろう、楽しもう!~1年間、一つのテーマで取り組む学級活動~」 石原真由美(埼玉)「算数とは新しい世界に子どもをつれていくもの~かけ算に取り組んで~」	
2, 障害児学級での教育実践(中学校)	山下 洋児 さん(東京)
<<Re>>林 孝司(京都)「学級旗を取り戻せ! ~仲間と学ぶ数学の授業~」 川口 慎司(大阪)「生きづらさを抱えた子どもと向き合い、ともに生きる」 金坂 美穂(東京)「『普通に生まれたかった』K君と向き合って考えてきたこと ~『普通』ってなに?『自己肯定感』ってなに?~」	

3, 発達障害児の教育実践 (小・中)	宮本 郷子 さん (龍谷大)
《Re》立川 都 (東京)「学級一番の暴れん坊が落ち着いた！」 文珠四郎悦子・川崎未歩 (大阪)「げき『11ぴきのねことあほうどり』」	
4, 発達障害児の教育実践 (高)	妹尾 豊広さん (東京)
《Re》樋口 玲子 (和歌山)「発達障害の理解と集団作り」 野々山結衣 (神奈川)「A君たちの青春を支えて～高等部コース制を考える」 松本 孝幸 (山口)「発達障害におけるキャリア教育を考える」	
5, 通級指導教室の教育実践	玉村 公二彦さん (奈良教育大)
《Re》尾関美恵子 (京都)「読み書き、算数の学習に困難を示す児童について～通級指導の取組から」 久保 由佳 (大阪)「つながりをもとめて～Mちゃんとともに～」 篠田 友子 (埼玉)「通級指導教室 今、自分にできること」	
6, 視覚障害児の教育実践	今井 理知子さん (大阪)
《Re》加藤 学 (奈良)「弱視児の漢字学習について～小学部3年生『漢字学習シート』を使った実践」 豊田 悦子 (兵庫)「不安を乗り越え自信につなげる保育～アンバランスちゃんの幼稚園生活～」 矢口 直 (東京・寄宿舎)「全盲なのにイヤーマフをするTくんの成長」	
7, 聴覚障害児の教育実践	竹澤 清さん (中部学院大)
《Re》谷 充弘 (兵庫)「歴史を通じて生き方を考えさせる」 岡田 直美 (大阪)「聾学校、通級指導教室で大切にしてきたこと ～集中しにくさのある、きこえにくいAさんの事例を中心に～」 松浦 勝 (香川・寄宿舎)「課題に寄り添う支援とは～寄宿舎での生活体験からみえるもの～」	
8, 病弱の子どもたちの教育実践	船田 真紀さん (和歌山)
《Re》竹中 夏恵 (和歌山)「みはま支援学校におけるベッドサイド授業の取組について」 南 寿樹 (愛知)「大樹に寄り添える学校・大人でありたい」 佐藤比呂二 (東京)「小児がん経験者の語りに学ぶ～出会いに可能性を～」	
9, 発達の遅れと授業づくり教育課程づくり ア) 最重度と言われる子どもたち	河合 隆平さん (金沢大)
《Re》堀川順子・綾部正大 (奈良)「光明園教室の実践」 南 有紀 (和歌山)「自分の手で世界を広げ始めたDくん -重症児の発達に寄り添う-」 伊藤 牧子 (宮城)「いろんなことに挑戦したい～小学部訪問学級のとりくみ～」	
10, イ) ことば獲得期までの子どもたち	高木 尚さん (日本福祉大)
《Re》片瀬 典子 (滋賀)「1歳半前後の子どもたちの授業で大切にしたいこと ～『ことば・かず』の取り組みから」 山林 哲 (大阪)「『カタン』フォークが床に落ちたータイキの自我の育ちー」 若山 健太 (埼玉)「障害の重い子どもたちと集団活動～朝の会～」	
11, ウ) 教科・教科入門期の子どもたち	櫻井 宏明さん (埼玉)
《Re》海藤 尚武 (滋賀)「Iくんの育ちをみつめて～小学部から中学部へ9年の歩みの振り返りから～」 吉村 邦造 (群馬)「その瞬間を真剣に生きる中で成長するーMさんのことを中心にー」 矢野 有記 (高知)「知的障害特別支援学校小学部での実践 ～子どもとのとらえ方について考えること～」(仮)	
12, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり・教育課程づくり(小)	三木 裕和さん (鳥取大)
《Re》日檜 由希 (奈良)「自分を描こう～自分の思いを表現するために～」 保木あかね (滋賀)「『そうきたか!』と子どもたちとつくる楽しい授業 ～子どもたちの『やりたい』を引き出す工夫～」 柴田 朋美 (京都)「こだわりの中にある思いに気づいて」	
13, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり・教育課程づくり (中・高)	白石恵理子さん (滋賀大)
《Re》大森 俊幸 (奈良)「強度行動障害児童生徒へのアプローチ ～小学部N君、中学部F君との関わりを通して～」 西川 哲矢 (滋賀)「Hと向き合おう」 三木 雄喜 (大阪)「Aくんが学校に来れた理由」	

14, 青年期の課題と授業づくり・教育課程づくり	射場 隆さん(京 都)
《Re》中筋 達也(奈 良)「節目に寄り添う～不登校生徒への実践～」 吉田 洋 (滋 賀)「青年期の自我形成と甘やかすことの違いについて考える ～思いの出しにくい生徒にとっての学校と教師の役割とは～」 松本 陵子(愛 知)「私が出会ってきた子どもたち～高等部で7年間過ごす中で思うこと～」	
15, 性教育の実践	千住真理子さん(大 阪)
《Re》河津 美洸(滋 賀)「中軽度知的障害のある生徒への性教育について ～おとなじくで、素敵なお大人になろう～」 間賀田清子(神奈川)「性教育 待った無し！—スマホ、携帯で加速化する課題に向き合って」 山田 祐子(千 葉)「重度重複障害者のこころとからだ～性指導の視点をふまえて～」	
16, 保護者との共同・教育条件整備	卜部 秀二さん(大 阪)
《Re》青木美弥子(滋 賀)「子どもの医療と守山養護学校の教育を守る会の取り組み ～病気の子どもの笑顔を守りたい～」 角田 信子(埼 玉)「埼玉の障害児学校の学校不足の現状と保護者と連帯した運動」 京都からのレポート(予定)	
17, 子どもの生活を考える(寄宿舎・学童保育)	藤田 幹彦さん(大 阪)
《Re》相川はるな(京 都)「もっとステキに…オレの自分づくり～しゃべりたい、伝えたい、変りたい～」 田中はる奈(埼 玉)「寄宿舎に泊まることはハンディになる？ろう学校における困難とは」 笠井 恵 (北海道)「進路変更の裏側～特別支援教育を職場の中で考える取り組み」	

各県・ブロック別交流会

各所ブロック別に計画中

障害児学級交流会

「風神」(近鉄奈良駅近く) 18:00～

青年交流会

「リガーレ春日野」 18:30～(会場より送迎バスあり)



障害児学校・障害児学級・
通級指導教室・寄宿舎・・・
障害児教育にかかわる教職員
が一堂に集まって交流する場
が、この障害児学級&学校学
習交流集会です。
みなさんのご参加お待ちしております。

教育フォーラム(1/8) 9:30～12:00

	フォーラム名	主な対象	コーディネーター・講師
1	小中学校におけるインクルーシブ教育を考える	支援学級・通級指導教員	宮本 郷子 さん
2	とっておきの授業づくり・学校づくり	すてきな実践を聞きたい方	梶原 弘史 さん 中川 明美 さん
3	改訂学習指導要領を考える	障害児学級・学校教職員	三木 裕和 さん
4	障害者の人権	障害児教育に携わる方	河合 隆平 さん

参加のお申し込みについて

1、参加の申し込み方法について

- ※ 所属されている各組合に、裏面の申し込み用紙にてお申し込みください。
- ※ 個人で申し込まれる方は、全国実行委員会に、裏面の申し込み用紙にてお申し込みください。
- ※ 各組織は参加者をまとめ、所定の用紙（各組織に別途送付いたします）にて全国実行委員会までご報告ください。申し込み先は、下記のお問い合わせまでお願いします。
- ※ 全体会、分科会等で手話通訳を希望される方は、申し込みの際にお申し出ください。直前には対応できない場合があります。

2、参加費について

- 集会参加費
全日程・・・・・・・・・・・・ 3,000円
6日もしくは7日のみ・・ 2,000円
教育フォーラムのみ・・・・・ 1,000円
学生・保護者・・・・・・・・・・ 500円
- 交流会費（6日）・・・・・・・・・・・・ 6,000円
- **今回の集会はお弁当の販売はありません。会場周辺で各自お願いします。**

3、宿泊について

- ※ 宿泊は、各自で確保をお願いします。奈良駅周辺にはホテルがたくさんありますが、**繁忙期のため早めの確保をお願いします。**

4、交流会（6日）について

- ※ 手配の関係がありますので、最終のお申し込みは12月22日（金）までにご報告ください。
- ※ 12月25日（月）以降のキャンセルはできません。申し訳ありませんが、全額をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

5、申し込み（報告）の締切について

- ※ 12月22日（金）【参加者名簿を作成しますので、可能な限りここまでにご報告ください】
- ※ ただし、集会への参加は当日まで受付いたします。

6、参加費のお支払い

- ※ 集会当日、受付にて申し込み組織・個人ごとにお支払いください。

7、お問い合わせ（全国実行委員会・全教障教部）

- TEL（03）5211-0123 / FAX（03）5211-0124



全国障害児学級・学校学習交流集会 参加申込用紙

申込用紙に記載のうえ、各組織・団体本部にお送りください。
(個人で参加を希望される方は、直接この用紙で下記の全国実行委員会までお送りください)

お名前	性別	所属組織・学校
TEL ※連絡のとれる電話番号をご記入ください。	E-mail	
手話通訳の希望	有 無	

■ 参加内容 (該当する箇所に○印および金額を記入してください)

	1/6 (土)	1/7 (日)	1/8 (月)	金額	備考
参加日程				円	全 3,000 円、6 日 or 7 日のみ 2,000 円 教育フォーラムのみ 1,000 円、父母等 500 円
全体交流会		—	—	円	6,000 円 (6 日開催)
合計				円	

1、参加の申し込み方法について

※ 所属されている各組合に、この申し込み用紙にてお申し込みください。

※ 組合などに所属せず、個人で申し込まれる方は、全国実行委員会にこの申し込み用紙にてお申し込みください。申し込み先：FAX (03) 5211-0124

※ 全体会、分科会等で手話通訳を希望される方は、申し込みの際にお申し出ください。直前には対応できない場合があります。

2、宿泊について

※ 宿泊は、各自で確保をお願いします。また、早めの宿の確保をお願いします。

3、交流会(6日)について

※ 手配の関係がありますので、最終のお申し込みは12月22日(金)までにご報告ください。

※ 12月25日(月)以降のキャンセルはできません。申し訳ありませんが、全額をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

4、申し込み(報告)の締切について

※ 12月22日(金)【参加者名簿を作成しますので、可能な限りここまでにご報告ください】

※ ただし、集会への参加は当日まで受付いたします。

5、参加費のお支払い

※ 集会当日、受付にて申し込み組織・個人ごとにお支払いください。

6、お問い合わせ(全国実行委員会・全教障教部)

■ TEL (03) 5211-0123 / FAX (03) 5211-0124

MAIL a_aoki@educas.jp

担当：佐竹、青木